

古橋宜昌の EX プランニング実践塾 第5回

■前回の課題の確認

まず始めに前回の課題の敷地条件及び施主の要望について確認しておきましょう。敷地条件は西側と北側に道路がある角地で道路と敷地の高低差は 100mm でした。

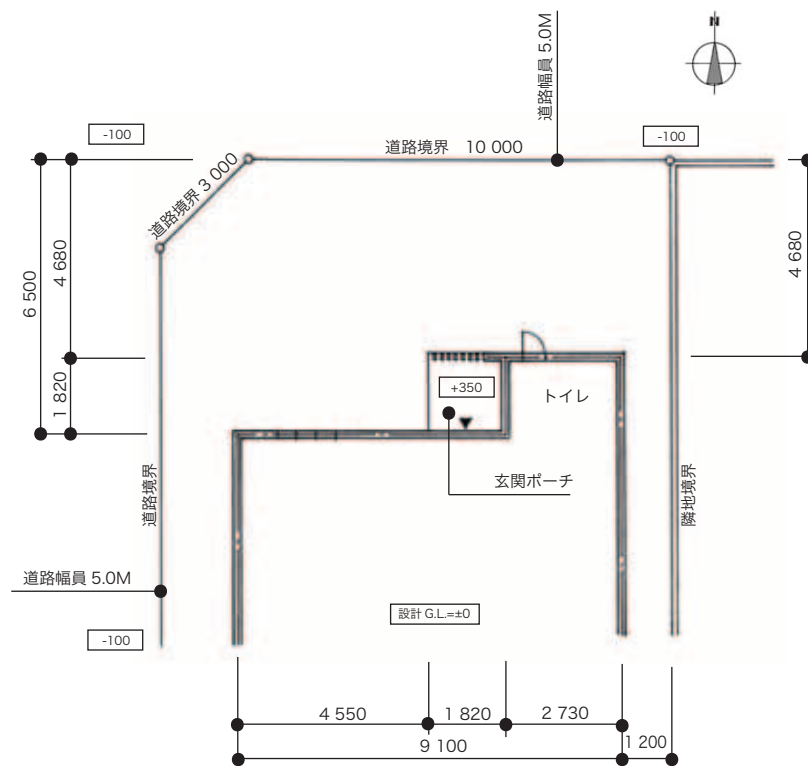
主な施主の要望は

- ・ 駐車場 2 台分の確保。
- ・ 出来るだけ植栽を多く。
- ・ 単調なプランにならないように。

などでした。

2 面道路の角地物件で、駐車場を 2 台分確保しながら、植栽をうまくレイアウトしなくてはならない課題でしたが、みなさんどのようなプランで対応されたのでしょうか？

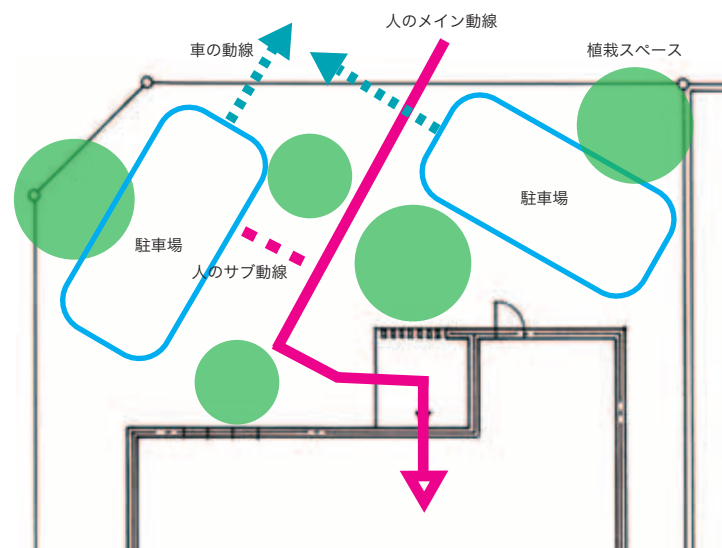
今回もまずはゾーニング図を使って基本的な考え方や、動線計画を解説していくことにしましょう。



■ゾーニング

駐車場のレイアウトは通常、道路に対して直角又は平行にとる事が一般的ですが、施主の「単調なプランにならないように」「出来るだけ植栽を多く」という要望と、隅切りがある敷地条件から、今回は斜め駐車をベースにゾーニングを考えてみました。

駐車場を道路に対して斜めにする事で、道路との間にスペースが出来るので、積極的に植栽を提案します。アプローチの先にも植栽スペースを確保して、道路から建物の外壁が丸見えにならないように配慮することもポイントです。



Furuhashi Norimasa



古橋 宜昌
ふるはし のりまさ

生年月日: 1958年4月6日
 東京電機大学理工学部建設工学科卒。
 有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。
 JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員・大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。
 個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。
 ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>

■模範プラン

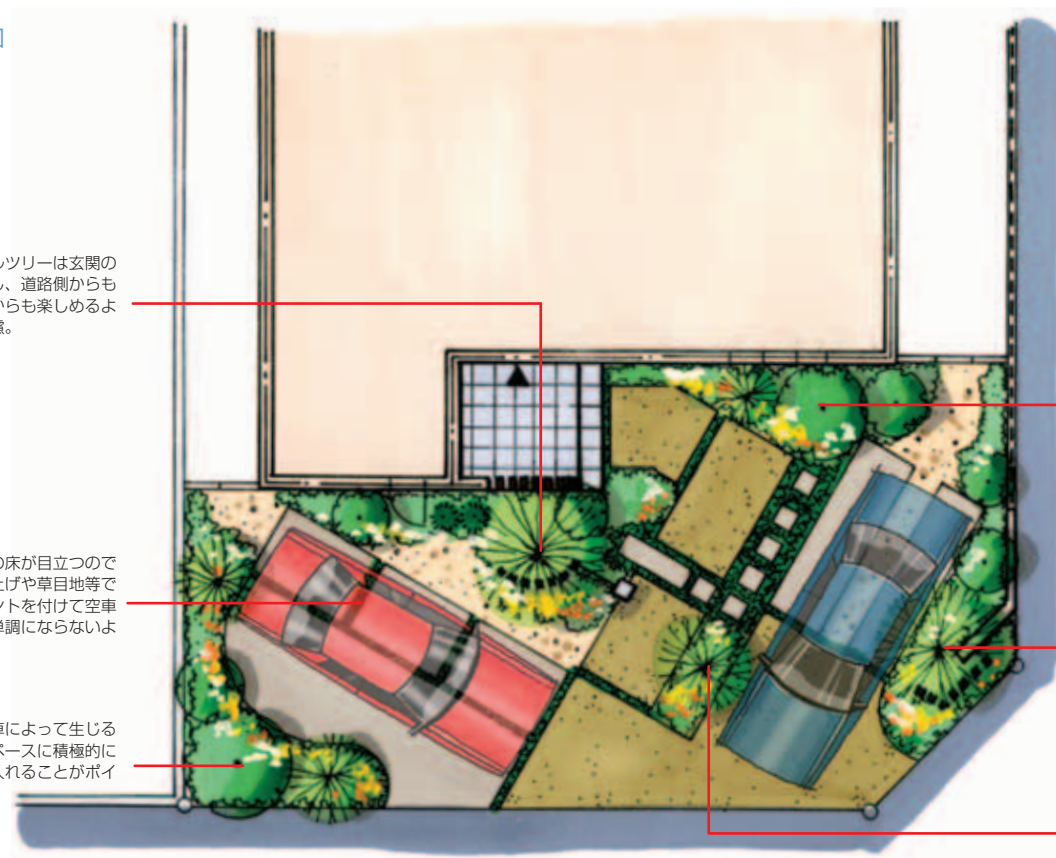
それではゾーニング図をもとに作成しました模範プランをご覧ください。立面図と比較しやすいように、便宜上平面図は北を下にして表示しています。駐車場のまわりに多くの樹木を配し柔らかい表情にし、アプローチにも変化をつけたプランにしてみました。

■平面図

シンプルツリーは玄関の前に配し、道路側からも玄関側からも楽しめるように配慮。

駐車場の床が目立つので床の仕上げや草目地等でアクセントを付けて空車時でも単調にならないように。

斜め駐車によって生じるこのスペースに積極的に植栽を入れることがポイント。



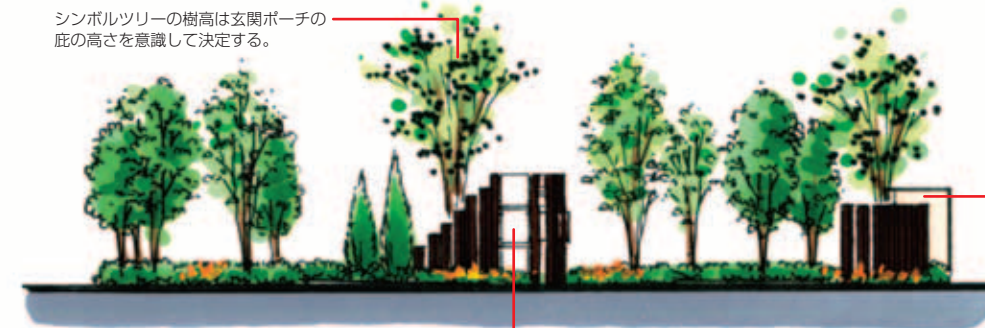
お客様がアプローチを進む際、その正面に住宅の基礎や外壁が見えになると表情が堅くなるので、この部分に植栽を入れるとよい。

角地の場合、この部分が目立つので、植栽とアクセントウォールなどでポイントをつくる。

駐車場とアプローチの間に樹木を植えると、落ち着いた雰囲気にする事ができる。

■立面図

シンプルツリーの樹高は玄関ポーチの庇の高さを意識して決定する。



塗り壁とアクセントのコンビネーションでコーディネート。

オープンスタイルなので門袖のデザインも重要。

■イメージパース



勿論、このプランが正解という訳ではありませんので、あくまでもプランの一例としてご覧いただきご自分で考えられたプランと比較して、各ゾーンのバランスや納まりなど、実邸を設計する際の参考にさせていただければ幸いです。